



日本の“宝島”あまくさ

ほんと まちづくり協議会だより

未来の大人から大人へ～若者を応援するまち～

新型コロナウイルスが発生してから、1年2か月、国内ではやっと感染者数が減少し、ワクチン接種も始まりましたが、完全に収束したとはいはず、気を緩めるといつまた感染が拡大するかもしれません。感染予防対策をしっかりとて日常生活を送っていきましょう。

昨年末に、中村市長さんが急逝されました。本市発展のため全力を尽くしておられたお姿を思い、大変残念であり、感謝の気持ちでいっぱいです。ご冥福をお祈りいたします。

馬場市長が誕生いたしました。課題山積の天草のまちづくりに手腕を発揮していただきたいと思います。私たちも一緒になって地域の未来へ向けて努力してまいります。

さて、昨年度は本渡まちづくり協議会でもコロナの影響で多くの活動が縮小、中止を余儀なくされました。今年度は活発な活動ができるようになればと願っています。「未来の大人応援プロジェクト」は、天草市や三重県の一般社団法人未来の大人応援プロジェクトの支援を受けて、天草拓心高校に令和元年4月にSBP部が発足し、活動を開始しました。高校生が主体的に考え、それを実践していくものです。私たち大人は、アドバイスはしますが、決定するのは高校生です。まずは、愛知県立高浜高校にオリジナルたい焼き機の製作をお願いし、天草ならではの、Sの絆焼き（あまりん焼き）を作り、天草を全国に発信していくことです。もう一つは、三重県立南伊勢高校南勢校舎の生徒が提案した災害時の非常食の開発です。昨年1月15日に天草市役所で南伊勢高校の生徒も一緒に「防災非常食の開発」に関するキックオフ宣言を共同で行い、開発を進めてきました。コロナの影響で順調とはいきませんでしたが、何度もTV会議を行い、試作を重ねてこの度完成し、2月13日に発表会を行いました。南伊勢の高校生もリモートで参加してくれました。しかし、これで終わりではありません。次なる活動の挑戦への始まりです。

私たちは多くの皆様のご理解を得て、この事業を応援してきましたが、あまりん焼きや、非常食を作ることが目的ではなく、あくまで手段の一つです。私たちが目指すのは、その名の通り未来の大人の応援です。次の時代を担う天草を愛する若者を育てていくことです。

この2年間天草拓心高校の生徒さんと近くで接してきました。岸川先生の指導の下、日々成長していく生徒を目のあたりにして、このプロジェクトに取り組んで来て本当に良かったと思っています。これからも応援し続けたいと思っています。

「我以外わが師」という言葉があります。人生は出会いが大事です。そして、どんな素晴らしい教えを受けても、自分が実践しなければ、それは学んでいないことと一緒にあります。自ら進んで学ぶこそ人生の宝であるといわれています。生徒たちはまさにこのことを実践していました。この言葉をしっかり受け止め、これからも活動してまいります。

皆様のご指導、応援よろしくお願ひいたします。



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol.26

令和3(2021)年4月1日号

目次

- 会長あいさつ……………P.1
- 令和2年度事業実績報告……………P.2~3
- 各地区の話題……………P.4~5
- 宮地岳地区、楠浦地区の取り組み……………P.6
- 天草拓心高校SBP部部長あいさつ……………P.7
- ふるさと応援寄附金のお礼など……………P.7
- 天草拓心高校SBP部の紹介など……………P.8

ほんとのいま

令和3年3月1日現在
(令和2.9.1との比較)

【男】	3,786人 (- 16)
【女】	4,392人 (- 11)
【計】	8,178人 (- 27)
【南】	3,770 (- 20)
【高齢化率】	33.4%
【男】	5,493人 (+ 24)
【本】	6,025人 (+ 14)
【渡】	11,518人 (+ 38)
【北】	5,104 (+ 20)
【高齢化率】	24.1%
【男】	2,093人 (+ 26)
【亀】	2,325人 (+ 18)
【計】	4,418人 (+ 44)
【場】	1,837 (+ 15)
【高齢化率】	25.2%
【男】	290人 (- 2)
【栃】	307人 (- 3)
【宇】	597人 (- 5)
【土】	267 (- 0)
【高齢化率】	48.6%
【男】	1,249人 (- 13)
【志】	1,472人 (- 13)
【計】	2,721人 (- 26)
【柿】	1,217 (- 0)
【高齢化率】	36.6%
【男】	792人 (+ 7)
【下】	906人 (- 1)
【計】	1,698人 (+ 6)
【浦】	762 (- 3)
【高齢化率】	44.9%
【男】	1,130人 (- 9)
【楠】	1,239人 (- 2)
【計】	2,369人 (- 11)
【浦】	1,013 (- 0)
【高齢化率】	38.8%
【男】	810人 (- 14)
【本】	854人 (- 20)
【計】	1,664人 (- 34)
【町】	826 (- 7)
【高齢化率】	41.0%
【男】	1,520人 (- 14)
【佐】	1,657人 (- 16)
【伊】	3,177人 (- 30)
【計】	1,436 (- 4)
【津】	36.6%
【男】	237人 (- 2)
【宮】	246人 (+ 1)
【地】	483人 (- 1)
【岳】	239 (+ 1)
【高齢化率】	54.5%
【男】	17,400人 (- 13)
【合】	19,423人 (- 33)
【計】	36,823人 (- 46)
【世帯数】	16,471 (+ 2)
【高齢化率】	31.7%

【編集・発行】

本渡まちづくり協議会

【事務局】

天草市 地域振興部
まちづくり支援課
TEL 0969-8631
熊本県天草市東浜町8番1号
TEL 0969-32-6661
FAX 0969-24-2744
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

天草拓心高校SBP部の活動紹介

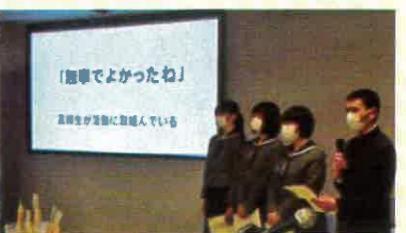
2月13日(土)に天草市複合施設こらすで「防災非常食」についてプレス発表を行いました。

三重県立南伊勢高等学校南勢校舎と共同で進めてきた非常食プロジェクトについて「2校共同によるSBP事業成果発表会」と題し、今まで取り組んできたこと、製品の説明、製品に込めた思いなどを少しでも多くの方々に自分たちの活動を知ってもらえるように精一杯伝えました。

発案から試作、試作して改良、そして試作また改良とたくさんの時間をかけて製造した防災非常食「せんだご汁」ですが、非常時がなく安心な生活が送ることができ、食べる機会がない方が良いと考えています。この製品を通して防災意識が高まってほしいです。



▲記者発表のようす1



▲記者発表のようす2



▲試食のようす



▲あみりん(オリジナルキャラクター)



▲開発した防災非常食



▲商品パッケージ

私たちの活動については、天草拓心高校ホームページ内SBPのコーナーで随時発信していきますので、ご覧ください。また、このプロジェクトには、多額の資金が必要です。ご協賛いただける幸いです。



佐伊津町ウォークラリーを開催しました！

佐伊津地区振興会 会長 原田 康秀

10月25日に「第10回佐伊津町ウォークラリー」を開催しました。

コロナ禍で恒例行事の中止が続くなか、待ちに待った行事の開催ということもあり、ここ数年では最多の107名が参加し秋晴れの下、観察ゾーンやチェックポイントのクイズに挑戦しながら、地蔵様などを巡る約5kmの明瀬路を楽しく歩きました。ゴール後は、せんざいが振舞われ、景品抽選会でも盛り上がりました。今後も楽しい行事を通して地域の絆を深めていきたいと思います。

本町まちづくり講演会開催



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

第11回 楠浦よかとこスタンプラリー大会開催

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 清武

1月17日、楠浦町の歴史や文化を学びながら、名所や文化財など楠浦のよかとこを歩くスタンプラリー大会を開催しました。今年度は、参加人数を例年の半分にし、マスク着用や検温、手指消毒など、様々な場面においてコロナウイルス感染症防止対策を行いました。

当社は、楠浦よかとこ案内人の会と一緒に、楠浦小学校4年生が各名所を案内しました。小学生は1学期から勉強し、各名所や文化財の由来について上手に説明してくれました。その他にも自分たちで考えたクイズを出題するなど、参加者の皆さんも楽しみながら耳を傾け勉強されていました。ゴール後には、参加者から「小学生の説明がとても良かった。」「楽しかった。また参加したい。」などと声をかけてください、子どもたちも達成感に満ち溢れた表情でとても輝いていました。



⑤

農産物加工講座を受講しました

宮地岳地区振興会 会長 松川 菁爾

婦人部では農産物加工の技術を学ぶことを目的に阿蘇郡小国町に研修に出かけました。「季節の野菜を使った加工品づくり」体験では、きゅうりのジャムやほうれん草を使った蒸し饅頭など、その土地の特産品を作る加工の技術を学ぶことができました。

道の駅「宮地岳かかしの里」の店頭に、婦人部で作られた加工品が並ぶ日もそう遠くはないと思います。皆様、お楽しみにお待ちください。

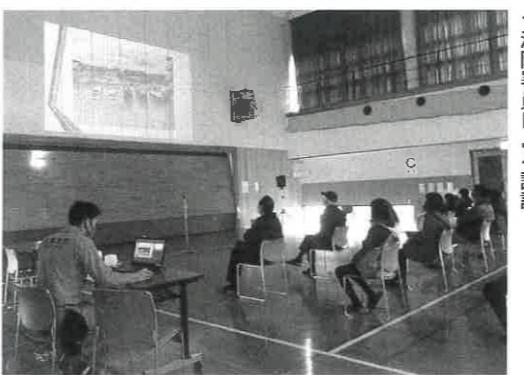
▶講座の参加者



防災・炊出し訓練を行いました

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅靖

毎年のように各地で「数十年に一度」の豪雨や台風による災害が起きています。そこで本渡南地区振興会では毎年この防災訓練を行っています。今回は「近年の多様な災害に対する心構えについて」と題し消防署より講話とAED操作・心肺蘇生方法を学びました。市社会福祉協議会からはブルーシートによる寝袋つくり、段ボールでつくり立つくりを学びました。参加された皆さんは真剣に各訓練に臨まれました。



花づくり教室を開催！

本渡北地区振興会 会長 金澤 一紀

11月12日、天草花咲プロジェクト事業の一環として、「美しい天草の景観をつくる」という意識の高揚を図ることを目的とする花づくり教室が開催されました。講師の方から花の植え方や管理方法など分かりやすく説明を受けた後、コミュニティセンターの花壇にビオラやアリッサムの苗を植えたり、お持ち帰りのプランターに寄せ植えをしたりしました。今後も地域の皆さんで“北地区を花いっぱいに”を目標にこの事業に取り組んでいけたらと思います。



◀ 苗を植えているようす

▶ 楽しく参加されているようす

本町まちづくり講演会開催



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん

各地区の話題



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん

疫病退散！～イルミネーション事業～

亀場地区振興会 会長 河野 鮎

11月22日から1月3日までの約1ヶ月間、亀川小学校国道沿いのフェンスと校庭（並木、遊具、倉庫）にイルミネーションを設置しました。今回も稜南中学校美術部（生徒19名、先生方4名）の皆様にご協力をいただき、地域づくり部会のメンバーと一緒に作業を行いました。今年度は、コロナ禍にあり「禍転じて福と為す」よう、新たに疫病退散のシンボル「アマビエ」を掲げ、コロナ退散の願かけとしました。



◀ 一緒に作業した稜南中のみなさん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田 福男

11月14日、「まちづくり講演会」をコロナ禍の中、人数を制限して開催しました。

今年度は天草市立有明小学校校長 森下和代 様を講師にお招きして「いのちの講話」をして頂きました。

講演会で学んだ「自分と人のいのちのたいせつさ」をもう一度心に刻み、寄り添い合い、支え合いながら生活していく本町を目指します。

▶ 講師の森下和代さん



本町地区振興会 会長 堀田

■令和2年度 事業実績一覧

実施期日・期間	「事業名」(実施場所) 事業内容	参加者
令和2年6月26日	「第1回 まちづくり協議会」会議 (ポルト) 令和元年度 事業実績・収支決算の報告・承認 令和2年度 事業計画・収支予算の審議・決定	24人
令和2年7月20日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(ポルト) 本渡まちづくり協議会委員を対象とした岸川政之氏の講話、意見交換	14人
令和2年7月20日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校) 岸川政之氏の講演会、ワークショップ、打ち合わせ	約100人
令和2年8月1日、2日、9日、23日	「第5回全国高校生 SBP 交流フェア」(天草市役所) オンラインにて、参加校や天草拓心高校 SBP 部の発表を視聴、結果発表・講評、参加校との交流会	約40人
令和2年9月19日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校) 天草拓心高校 SBP 部への授業、防災非常食にかかる意見交換、オリジナルたい焼き（あまりん焼き）の試作	約40人
令和2年9月20日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(ここらす) 本渡まちづくり協議会委員、平成30年度人材育成事業受講者を対象とした岸川政之氏の講話、意見交換	約30人
令和2年10月1日	「Vol.25 まちづくり協議会だより発行」事業 (本渡地域配布) 令和2年度 事業計画・収支予算、第5回全国高校生 SBP 交流フェア内容紹介、宮地岳地区、佐伊津地区の取り組み、地域おこし協力隊の活動報告、天草拓心高校 SBP 部の活動紹介などを掲載	—
令和2年10月24日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校) 天草拓心高校 SBP 部への授業、防災非常食にかかる意見交換、オリジナルたい焼き（あまりん焼き）の試作	約30人
令和2年10月25日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草工業高校) 天草工業高校 2年生を対象とした岸川政之氏の講演会	約40人
令和2年12月11日、12日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校) 天草拓心高校 SBP 部への授業、防災非常食の試作、せんだご汁の調理指導、防災非常食にかかる意見交換、オリジナルたい焼き（あまりん焼き）の試作	約30人
令和2年12月13日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草高校) 天草高校にて、SBP や天草での取り組み状況を説明、意見交換	7人
令和3年1月16日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校) 天草拓心高校 SBP 部への授業、せんだご汁の試食、防災非常食にかかる意見交換	約30人
令和3年2月13日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(ここらす) 天草拓心高校・三重県立南伊勢高校の協働による SBP 事業成果発表会	約50人
令和3年4月1日	「Vol.26 まちづくり協議会だより発行」事業 (本渡地域配布) 令和2年度 事業報告、ふるさと応援寄附金のお礼、各地区の話題、天草拓心高校 SBP 部の活動紹介などを掲載	—

宮地岳地区

かかし常設展示、イルミネーションの取り組み

宮地岳地区では、毎年3月下旬から5月上旬にかけて、「宮地岳かかしまつり」を開催しており、農村風景を再現した、手作り「かかし」を展示しておりますが、宮地岳地区の新しい取り組みとして、令和3年3月21日にオープンした道の駅『宮地岳かかしの里』の2階スペースで、かかしの常設展示を行っております。

2階スペースは、旧宮地岳小学校跡地を改築したもので、旧教室を活用し3つのテーマを決めて展示しております。

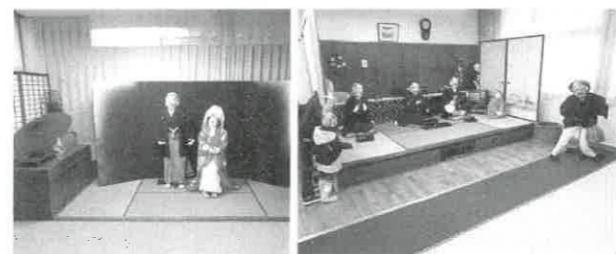
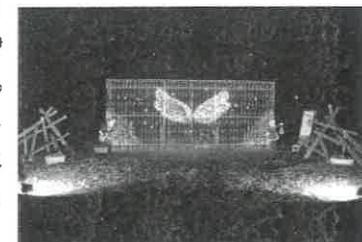
1つ目は「昭和の結婚式」、2つ目は「学校の授業風景」、3つ目は「かかし作りの工程」です。も



▲かかしの常設展示「学校の授業風景」 ▲かかしの常設展示「かかし作りの工程」

ちろん、すべて「かかし」で再現してます。写真撮影も可ですので、道の駅にお立ち寄りの際は、ぜひ、かかしの常設展示もご覧になってください。

また、町内の有志で結成した「宮地岳ライトアップ研究会」により、宮地岳の更なる飛躍と明るい町づくりを目指して、イルミネーションの設置を行いました。「かかし」と協調しながら、多くの方に宮地岳に訪れて欲しいと願いを込めて、取り組んでいます。



▲かかしの常設展示「昭和の結婚式」

楠浦地区

楠浦町の黄色い旗運動

楠浦地区振興会では、第4期楠浦地区振興計画の新規事業として、「黄色い旗運動」に取り組んでいます。今年度は、モデル地区として上の原地区内で実施することとなり、「上の原区見守ろう会」の協力のもと、全世帯で黄色い旗運動が始まりました。

この黄色い旗運動は、毎日、住民の方が道路からでも確認しやすい自宅の軒先等に、朝から夕方まで黄色い旗を掲げ、『今日も元気です！』とお知らせします。黄色い旗が掲げられていなければ、隣近所や気づいた方が声掛けをして安否確認を行います。今後は、一人暮らしの高齢者などの見守り活動につなげていきたいと考えています。

また、地区のあちこちに黄色い旗が掲げてあることにより、『あの旗は何だろう？』や『あっ、あそこの家にも旗がある！』と周りの目が向けられるた



▲各戸に掲げる黄色い旗

め、防犯対策にもつながっていくことを期待しています。

家庭内や近隣住民と声掛けをする事で、お互いのコミュニケーションが深まり、住み慣れた地域でもっと安心して安全に暮らせるようになることを願い、地区振興会の事業として始めました。暮らしやすい楠浦町を目指して、これからもこの運動を続け、町内の各地区に広めていきたいと思います。



▲安否確認のようす